

2017年度 第1回 静岡市多文化共生懇話会 会議録

- 1 日 時 2017年7月27日(木) 19:00～20:30
- 2 場 所 静岡市国際交流協会 1階 第2会議室
- 3 出席者 多文化共生懇話会委員12名
小林 タバサ、全 高香、宋 亜茹、高畑 幸、ニアズ アハメド、
ヒュン ソー ヴァン、福井 ユミ、ホリウチ アリッセ イズミ、メル セドリック、
楊 移苗、吉野 恵津子、レ ティ マイ ゴック
- 市民局次長、事務局、静岡市国際交流協会
- 4 傍聴者 1名
- 5 次第 (1)開会
(2)委嘱状交付
(3)市民局次長挨拶
(4)委員及び職員の自己紹介
(5)事務局より説明
(6)静岡市国際交流協会より説明
(7)会長、副会長選出
(8)意見交換、第2回懇話会の日程について
(9)男女参画・多文化共生課長挨拶
(10)閉会

6 意見交換内容

○ホリウチ会長

会長として1年8 か月、積極的な意見を出し合いながら頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○福井副会長

皆さんと一緒に住みよい静岡になっていけるよう、意見を出し合いながら進めていけたらいいなと思っております。よろしくお願いいたします。

○ホリウチ会長

お互い初めての方もいらっしゃるので、一人2～3分ずつ意見を出し合いたいと思います。席の順でお願いします。

○小林委員

私は静岡大学の学生ですが、ムスリムの留学生の信仰に合う食事が、もっと静岡市内で提供されればいいなと思っていました。学食でハラールを導入してもらえるよう、学内で署名活動をして1,005名の署名を静大の学長に提出しました。その際にはニアズさんにも色々協力していただきました。まだ実現はしていませんが、まず大学からそういう取り組みを始めて、市内にハラール料理の店が増えればいいな、と思っています。

○全委員

私は在日韓国人3世です。静岡に来てから子育てを主にやってきて、学校の中に入って子どもたちのサポートもしてきました。最近の学校ではフィリピンから来たお子さんも多く、PTAの活動になかなか馴染めない親御さんも結構いました。でも必ず役員はやらなければいけないという決まりがあって、困っている人がたくさんいらっしゃいました。その中でできることをサポートしてきましたが、そういうお母さんたちの支援になることができればな、考えていたらな、と思いました。今後ともよろしくお願いします。

○宋委員

静大大学院の1年生です。去年から「ふじの国留学生親善大使」(静岡県国際交流協会)をやっていて、国際理解や交流のボランティア活動に参加してきました。周りの友達でもそういうボランティアに参加したい人が多いんですが、外国人としてのボランティア活動の機会・場が少ないんです。親善大使にみんながなれるわけではないけど、民間の強化でもいい、もっと自分の力を使いたい。できることをやりたいんです。ボランティアの活動の場を増やしてほしいです。

○高畑委員

最近留学生や日系人の方が増えて、皆さんの働き方が気になっています。留学生は長時間労働をやっているようだし、日系人の方は留学生と違って日本語の分からない人が多く、長時間労働に加えて、残業代の25%プラスや有給休暇など、自分たちが本来持っている労働者の権利などが分かっている。知らないままにずっといる人が多いので、みんなが健康に働けるように、そういう情報提供があればいいかな、と思っています。

○ニアズ委員

小林さんと同じで、ハラール料理についてです。最近ハラールも人気が出てきました。一昨日の話ですが、バングラデシュから市長の団体が来ていて、25日にコミュニティホールでパーティをやっていたんです。その時、以前うちの店に何度か来たことのある中国人の団体が島田に来ていて、島田から1時間かけて行くからニアズさんの店でハラール料理を食べさせてくれ、と言われました。

県庁のパーティがあるので断りました。隣のインドレストランを紹介したんですが、中国のムスリムの人たちに、だめですと言われて。何とかしてくれと言われ、結局パーティに入ってもらって一緒に食事をし、「国際理解」となりました。料金も同じだけ払ってもらって。次の日の朝食も用意して欲しいということで、お弁当を作って、朝の5時に届けました。

外国人は一度店を覚えると、他の店を探したりしないで毎回同じところに行きたいんですね。そういう意味で、もっとレストランの情報を増やして、提供すればいいのではないのでしょうか。

○ヒュン委員

ベトナム出身の県立大学院生です。2つ、あります。先ほどの説明でもありましたが、最近ベトナム人が増えてきたということなので、ベトナム語のできる相談員がいてくれたらありがたいです。

2つ目は大学のことです。昨年までは、県立大学の学部の留学生は日本人と同じように第2外国語が選択できたのに、今年から日本語しか選択できなくなりました。他の好きな言語を勉強できなくなりました(第1外国語は英語、留学生・日本人学生全員必修)。おかしいな、と思います。急に制度を変えるなら、留学生と相談したほうがいいじゃないですか。一人ひとり相談して、自由にさせたいのに、なぜ急にそうなったのか気になります。

○メル委員

静岡にはフランス人はそんなにいないんですが、今まで日本人として結構助けていただきました。これから提言や問題について考えます。

英語やポルトガル語、スペイン語はよく見かけますが、フランス語はあまり見つけることがない。フランス人観光客はあまり静岡まで来ませんが、フランス語によるインフォメーションや情報提供もやってくれば、フランス人も助かると思います。

○楊委員

2点ほど気になることがあります。清水港に大型客船が入った時のガイドを3回やったことがあります。これからも続けるつもりです。私が案内したのは、三保の松原と温泉「天下泰平の湯」のコースです。中国人と日本人では温泉の入り方が全く違って、中国人はみんな水着を持って来ました。日本人は裸ですが、それがお互い分かってなかったのびっくりしていました。帰るとき、温泉の人に「みんな滅茶苦茶ですね」と言われました。せっかく観光に来たので中国人のよいイメージを残してあげたい。事前にちゃんと説明すれば受け入れてくれる人が多いです。2回目、3回目になると、温泉の責任者も「いい感じですね、大分直りましたね」と言ってくれましたが、やはり事前の説明が大事だと思います。ガイドは短い時間でその他の説明で手一杯なので、日本の入浴文化についての説明文や、温泉についての中国語のチラシやパンフレットを前もって渡せばよいと思います。

もう1点は、幼稚園入園について、市役所に1年半の間に5回相談に行きました。保育園と幼稚園の違いとか、公立・私立、費用など色々聞きに行きました。5回目に収入と月謝についての書類の確認に行ったのですが、その時になって「お宅に当てはまるのはこの書類ではありません、

こっちは」と言われ、嘸然としました。それまでの4回はなんだったのかと。それで結局私立に決めました。

○吉野委員

豪華客船のおもてなしは、年に2回、私たち日本語交流の会も参加しています。着付けとお抹茶と習字をやるんですが、皆さんに喜んでいただいています。今度は10月を予定しています。

さて、前回の懇話会の提言でも日本語教育の大事さを確認し、私たちの教室でもやっています。一番多く通ってくれるのはベトナム人、次に中国人です。ちゃんとした企業にお勤めの方は、企業が勉強の時間をとってくれて、習いに通って来られるからいいんですが、先ほど高畑先生のおっしゃっていたような、過酷な働き方をしている人は残業残業で通えなくなってしまう。そういう人がすごく多いんです。企業の対応に恵まれているかどうかで、研修生の方たちの生活が全く変わってしまいます。企業の担当者によって、理解度が違うので、企業へ向けて、日本語教育の大事さを声を大にして言いたいですね。企業の担当者へもっと周知が図れば、と思っております。

○レ委員

先ほどの国際交流協会からの説明で、多くの外国人が来ており、ベトナム人は研修生・研究生が多いということですが、日本語がよく分からないまま日本へ派遣されて、生活に困っているという声をよく聞いていました。日常生活をサポートしたり、必要なものや必要なことについてサポートしたりする活動を増やしたらどうか、と思います。

もう一つは、留学生が多くなって、就職活動に困っている人が多いので、留学生の就活サポートも必要だと思っております。

○福井副会長

以前、県の国際交流協会の相談員をしていたので、外国人問題はたくさん聞いて、すごく分かっているんですが、今、何を提言して、どう協力できるのかがよく分かりません。最近では医療通訳の仕事の中で、発達問題のお子さんが増えてきたのがすごく心配です。実際のところ、本当に発達問題があるのか。それとも、親が言語ができないために子どもが日本語をうまく覚えられず、家の中でコミュニケーションがとれない家族になっているからなのか。家の中で命令だけで過ごしている子どもが多い。起きる、食べる、寝る、とか。そういう家庭で育てている子どもたちが、外で「リンゴを切る」ではなく「りんごをチョコキンチョコキンする」と言ったりする。「切る」という言葉がよく分からなくて、発達問題と診断されるお子さんもいたりする。今後、特に日系のお子さんについて、心配だなと思っているところです。

あと、介護についても心配しているところです。

○ホリウチ会長

皆さん、有意義なご意見をありがとうございました。